

## アンケート結果からみた運営課題

### ■協議会全体の運営課題

#### (1) 運営の意識・方向性

- ・協議会全体について運営者の考え方がまとまっていない。
- ・協議会について知らない住民が多い。関心が低い。
- ・既存の事業を現状にあうように変化させていかななくてはならない。

#### (2) 運営の体制

- ・委員会の委員構成が決まっていない。
- ・運営については推進会議のまま変わっていない。部会の進み具合がまだ見えない。
- ・地区にあった研修会、説明会をしてほしい。
- ・生涯学習推進会の位置付けを今後どう考えるか。

#### (3) 行政との連携

- ・協議会の運営が行政の指示待ちになっていて積極性がない。
- ・行政の趣旨意向が見えない。組織再編の目的を再確認したい。

#### (4) イベント・会議の負担

- ・会議の負担が多い。
- ・役割の兼務が多い。

#### (5) 他団体との連携

- ・部会の構成団体間での情報交換や連携が十分でない。
- ・各団体の独立性と協議会での役割等の整合性がわからない。
- ・一年で役員が代わる団体があり、連携して行事等を行うことが難しい。
- ・部会と総務企画部門（理事会、役員会）との意思の疎通が難しい。

#### (6) 委員等の選出

- ・まちづくり協議会が軌道に乗るまで、センター職員を移動させないでほしい。
- ・役員の任期が1年～2年と短く、持続性のある活動に限界がある。

#### (7) 人材不足・人材の意識

- ・各団体も含め、役員の選出に苦労している。なり手不足が心配である。（特に若者）
- ・役員以外の方々の理解、協力が必要である。

#### (8) 予算

- ・予算が不足している。
- ・部会の運営、事業展開のための資金がない。
- ・市からの補助金のあり方（個別的な補助、包括的な補助、補助先等）の明確な情報がない。

## **(9) その他**

- ・初年度なので、手探りの状態である。先が見えない。

### **■部会の運営課題**

#### **(1) 運営の意識・方向性**

- ・部会の運営方法がわからない。
- ・部会を構成する団体それぞれの意識や考え方が違うので、まとめていくのが難しい。

#### **(2) 負担の増大**

- ・各団体の会議・活動に加え、部会の会議・活動は負担である。(会議のダブリ等)
- ・部会長の役割が重い。不慣れであると部会が進まない。

#### **(3) 事業の整合**

- ・各団体の事業計画間の細部の調整やすり合わせなどができていないため、組織全体としての事業の合理化は進んでいない。

### **■行事の課題**

#### **(1) 新たな行事の実施**

- ・まちおこしにつながる行事等が必要である。
- ・世代間交流を考えた行事等(事業・活動)が必要である。

#### **(2) 行事の集約化**

- ・行事等の集約化が必要である。
- ・町内と地区の行事等でやりきれない。行事等が多すぎる。

#### **(3) 行事内容の委員等への周知**

- ・協議会に入って日が浅い方は行事において何を行っていいかわからない。

#### **(4) 各団体間の事業の連携**

- ・各団体間の連携による事業の実施は負担が増大する。
- ・各団体で実施している事業は、それぞれの上部組織(市、社協、警察棟)からの補助金をもとに実施しているため、各団体間での連携・協力による事業実施は難しいのではないかと。
- ・各団体間の連携による事業の実施の方法がわからない。

#### **(4) 役員等の負担の増大**

- ・役員等の行事等の実施における負担は相当なものである。

#### **(5) 予算不足**

- ・予算不足で新たな行事は難しい。既存事業のコスト縮減が必要になっている。